

薬剤師レジデント前期コース（1年目）

到達目標：標準的な薬物療法に関する提案・介入・評価を行うことができる

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務 スケジュール (17:15までに全業務を終える)	午前	調剤 / 管理	調剤 / 管理	製剤 / 化療	DI / TDM / OPE・ICU			調剤 / 管理 / 製剤 / 化療			病棟④		
	午後		病棟①（ピンク病棟）		病棟②（青病棟）			病棟③（黄病棟）					
	チーム医療						DM教室	緩和 / NEST / ICT (1ヶ月ずつ)					
	症例検討会 スキルアップセミナー	スキルアップセミナー：毎週 症例検討会：毎月											
教育 スケジュール	実務実習指導	薬学実務実習指導											
	PBL											PBL	
	臨床医学基本実習								実習				
	IPW									IPW			
研究 スケジュール	臨床研究	研究テーマの選定					計画書作成		データ収集・解析				
	発表						研究検討会						各種学会
評価	レジデントレポート	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回	月1回
	症例レポート		(月1例以上)		(月1例以上)			月1例以上					
	成果発表会												成果発表会
	Kobe-PRS	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価
	研究評価			研究面談			研究面談		研究面談		研究面談		研究面談
	業務評価		サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談
	全体評価	部長面談					部長面談						部長面談

補足：

レジデントレポート：当月の振り返りと翌月の目標・計画を立案（業務提案含む）（月1回）

症例レポート：各領域（病棟）で経験した症例を報告書として提出する。形式は日本医療薬学会の薬物療法専門薬剤師申請における症例報告の形式に則る。

（薬物療法専門薬剤師の取得を目標とした場合、1領域につき5症例以上を提出する必要がある。）

病棟①～②までは症例を報告としてまとめて記載する練習期間と考える。

成果検討会：概要参照

Kobe-PRS：概要参照

研究評価：研究メンターが研究テーマについて面談を行い、進捗を確認する。

業務評価：研修メンターがサポート面談等を通じて実施する（概要参照）。

全体評価：薬剤部長が面談を実施し、レジデント研修の進捗や評価等を行う。

その他：各部署で実務実習生を指導する

疾患領域と病棟：	精神疾患	第二病棟
神経・筋疾患	9南、9北	
骨・関節疾患	5南、5北	
免疫疾患	9南、9北	
心臓・血管系疾患	7南、7北	
腎・泌尿器疾患	11北	
産科婦人科疾患	母子センター	
呼吸器疾患	6北	
消化器疾患	8南、8北	
血液および造血器疾患	4北、4南	
感覚器疾患	6南	
内分泌・代謝疾患	10南、10北	
皮膚疾患	6北	
感染症	全病棟	
悪性腫瘍	多くの病棟	
その他（どれにも分類されない場合、外来患者の定期的指導なども含む）		

黄病棟	9北	9南	4北	4南	第二	
青病棟	11北	10北	10南	8北	8南	
ピンク病棟	7北	7南	8北	8南	5北	5南